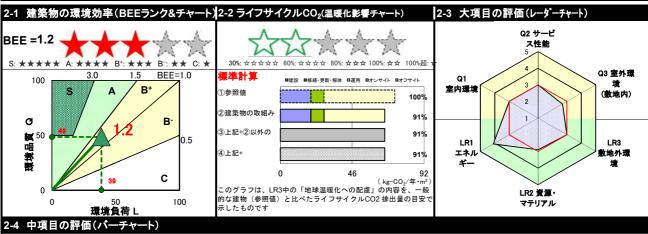
## 

1-1 建物概要			
建物名称	(仮称)ソルティア藤沢市鵠沼石上 新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県藤沢市鵠沼石上一丁目14番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	105 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年4月25日
敷地面積	439 m²	作成者	株式会社マリモ 桒田修一
建築面積	274 m²	確認日	
延床面積	2,270 m <sup>2</sup>	確認者	



## Q のスコア= 2.9 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q2のスコア= 3.0 Q1のスコア= 3.0 Q3のスコア= 2.7 3.0 3.0 3.0 2 2.0 光·視環境 耐用性 対応性 生物環境 地域性·



3 設計上の配点事項 総合 高い外皮性能と高効率な設備システムによってよりよい居住 また、多様な植栽により、良好な景観を形成するとともに則	その他 特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
相当の外皮性能とすることで室温制御に努めている。	外壁仕上げ材、内装仕上材、主要配管に更新必要間隔の長い部材	植栽により、良好な景観を形成している。 特に中・高木の水平投影面積を広くとることで、日陰を形成しており地表面近傍の気温上昇を抑制している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高い外皮性能に加え、高効率な設備システムを導入しエネ	主要水栓や便器に節水型を採用し、水資源の保護に努めて	建物運用時のエネルギー消費量を低く抑えることで、ライ
ルギー消費量を低く抑えている。	いる。 部材再利用の可能性の可能性が向上するよう、容易に分別 可能な壁構造を採用している。	フサイクルCO2の排出を抑制している。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO。」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される